

# 県内13市の財政分析白書

## 公益大生が公開で発表会

6月5日

東北公益文科大学大学院の出井信夫教授のゼミを履修している菊池敬太さん（4年生）と舟橋敬洋さん（同）ら3人が、山形県内13市の財政状況を調査研究した『山形県酒田市、鶴岡市等13市地方財政分析白書』をまとめた。公開講座を6月5日午後4時20分から、同教授の地方財政論の授業で聞き、学生たちが白書の内容を発表する。

同白書は、歴代のゼミで調べたデータも使いながら、2001年度から11年度までの決算数値に基づき、各市の財政状況を分析した。▼酒田市・鶴岡市の概況▼財政主要11指標の分析▼歳入科目の概況▼性質別歳出の概況▼目的別歳出の概況▼自治体財政健全化法の背景と概要▼今後の課題―の7章で構成。資料データ編を加え154ページある。



左から舟橋敬洋さんと菊池敬太さん

一般財源に占める借金の返済額の割合を示す公債費負担比率について同報告書は、酒田、鶴岡両市は07年度に危険ラインとされる20%を超えており、財政の硬直化が心配される。今後は

経常経費などを削減させ、全体的な歳出削減に努めていかなければならないが、財政を立て直すのは非常に難しい、と分析した。2人は今年度1年をかけて庄内、三川、遊佐3町の財政状況を研究する予定。